

2026年8月16日 浴衣でロザリオと聖母行列

敬老の日を迎えた方々と共に神様に感謝

主任司祭 ビジュ・キシヤケール

南山教会で9月20日9時30分ミサは敬老の方々を敬い、今まで教会の主な役割、そして多くの方々に信仰の模範として歩んでこられたことを感謝する日とともに、これからも神様に感謝のうちに歩む力を与えてくださいますように祈り、敬老の皆さんと共にその喜びをお祝いします。当日ミサ司式は松浦悟朗司教様がなさり、ミサの中で希望する敬老の方々に司祭団が病者の塗油を授けます。病者の塗油は例年ならミサ後に行ってきましたが、司教様と調整して、説教の後に行うことになりました。それは緊急ではない場合、つまり共同体として病者の塗油を授ける時に、堅信と同じように、共同体の祈りの中で行い、受ける方の心身の健康、罪の赦しの秘蹟となります。病院や個人で病者の塗油を授ける時にも、飲み込むことが可能であれば、最後にご聖体を授けます。その観点からも、やはり、説教の後に、共同体とともに信仰宣言を唱え、秘蹟を受け、共同祈願を唱える順番で行うことが信仰教育にもつながることになります。病者の塗油はいつでも授けますが、このたびのミサの中では、敬老を迎えた方々のみにさせていただきます。病者の塗油を受けることを希望する方々は敬老のミサ以外にいつでも申し出てください。この秘蹟によってご自分の病氣回復、イエス様の慈しみが注がれ、赦しの恵みが与えられます。ぜひ、敬老の方々は病者の塗油に与りましょう。共同体で祈り、祝いましょう。

平日のミサ時刻：

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時
第4土曜日 午前10時30分 子供のミサ(ナザレ館)
火曜日 午後7時・午後6時
金曜日 午前10時
ゆるしの秘蹟は各主日ミサ前に受けることができます。

主日のミサ時刻：

土曜日 午後5時 (ミサ前4時半聖体賛美式)
日曜日 午前8時・10時
Sunday Mass in English 9:30 am
(in the Marian Hall)
ベトナム語のミサ 第4日曜日 午後2時

第5回小教区宣教司牧評議會

9月6日

司祭団より

・城東ブロックの行事となりますが、11月28日(土)29日(日)能登と卯辰山の巡礼を企画。七尾教会と輪島教会でミサ。バスで行けたら良い。

・9月20日(日)9時半のミサは、今までの敬老の皆さんの信仰の歩み、様々な活動に関わってこられたことを神様へ感謝、また心身のご健康を対象の皆様とともに共同で祈る場で、敬老を迎えた方々が中心となります。今回は松浦司教様に司式をお願いできまして、病者の塗油は秘跡ですので、説教のあと、病者の塗油の秘跡、信仰宜共同祈願となります。また、当日病者の塗油の秘跡は敬老を迎えた方々を対象のみとします。また、10月24日(土)および25日(日)のミサは、ザンビアから日本に帰国中の傍島神父様に司式と説教をお願いしました。

・このあとも議題にあがると思いますが、ミサ時間について、日本語10時を9時半にして、英語ミサを11時と変更したい。当初、松浦司教様から、同時開祭のミサを控えることと、ミサは聖堂で行うことが相応しいと。これに対して、

英語ミサからの信徒同士の交流の場も必要との要望で、現状の時間となっていたが、司祭団として、何回かコーヒーショップで飲みながら見ていたが、英語ミサ参加者と日本語ミサ参加者の信者同士の交流をしている様子はなかったため交流のためというりゆうは当てはまらないと判断。今のマリア館では、お客様扱いで、ミサは教会でできるので、教会聖堂を使ってもらいたい。共同体合同ミサや教会清掃などを通して信者同士の交流を図っていきましょう。

報告・連絡事項

1. 9・10月予定確認(信徒代表)

9月4日(金)マリア会例会、9月6日評議會。9月13日聖堂等清掃・典礼奉仕者全体集会、9月20日敬老会・ヨセフ会班長会、9月27日教会美化・倉庫整理・バザー実行委員会、10月4日評議會、10月11日聖堂等清掃、10月24日バザー前日準備、10月25日バザー(この日は共同体合同ミサとし、9時半ミサのみ。司式は傍島師)。

2. 教会の設備について(宮緒委員)

・第二駐車場司祭館裏駐車場整備について

司祭団の尽力にて整備されました。入庫方法をご確認ください。

・鐘楼・音響の不具合について

先日(8月30日)鳴鐘時間が不安定になっていたことが発覚、音響については機器の不具合が発生した、いずれも現在、長谷川さんに対処していただいている。

・小聖堂と大聖堂玄関陸屋根の排水溝の清掃につき、お手伝いいただける方を募集し9月中には行う。

・聖堂内エアコンの風向きを勝手に変えないようにお願いいたしました。変えてしまうと吊っている電灯が揺れて安全性の面で心配になることもあります。

3. 平和旬間の取り組みについて(信徒代表・典礼委員会・社会委員会)

8月2日の第18回平和祈願の集いが大聖堂で開催された。多くの方々の参加があり、戦争を起こさないために憲法をしっかり守ること、一人一人が意識を持って行動することの大切さを学んだ。また、平和のために祈りを捧げた。

・8月9日に布池教会で平和旬間の行事とミサが開催された。

・南山教会では、主日ミサ9日主日ミサの中、長崎の原爆投下の時刻に合わせて鐘楼の鐘を鳴らし、祈りを捧げました。

4. 聖母被昇天(信徒代表・典礼委員会)

・8月16日(日)9時15分からの聖母被昇天祭では天使たち(浴衣を着た子どもたち)が、マリア様への献花と、ロザリオ(聖母の被昇天の黙想箇所)の先唱をし、皆様と共に祈りを捧げました。

5. 成井司教様の司祭叙階25年記念のお祝いについて(信徒代表)

8月16日(日)のミサを9時30分に一本化し、多言語合同ミサとした。その後、マリア館ホールでお祝いの茶話会を行った。傍島師のザンビア語の歌やインドネシアやベトナムの歌や踊りも披露され、楽しい時間となった。歌や踊りに成井司教様も参加された。

6. 社会委員活動報告(社会委員)

◎ 11月8日(日)14時〜第3回城東ブロック会議は、南山教会で行います。司祭の参加、場所の確保、飲物の手配 資料の印刷等の準備が必要です。

◎ 11月29日7月12日第2回城東ブロック会議 議事録から…

城東ブロック北陸支援日の担当教会は、南山教会となっています。輪島教会巡礼し、主日のミサを南山教会主任司祭司式(城東ブロック)で行います。本件については、ビジュ神父様からバスによる巡礼同行者の募集がありました。要綱の詳細は、事務所で確認してください。

◎ 教区の平和旬間についてあります。

○ 南山教会の平和旬間の活動については、上記のとおり。

上記の内容に加えて、8月6日～15日の間、平日のごミサでは、アシジの聖フランシスコの「平和の祈り」を唱え、主日のごミサでは、「聖フランシスコ年の祈り」を唱えました。

○ 教区では、8月9日の13時から「いのちを守る 平和を築く」を見て、効いて、気づこう！をテーマに平和祈願ミサを捧げました。第1部は「ゆでガエルの話」と「戦争の作り方」をビデオで観て、その後分かち合い。ごミサは15時から松浦司教の司式で捧げられました。今年は、世界で紛争が多く発生していたり、世界中が気候不順を訴えており、すべてのことに祈りを捧げました。

○ 役所への届け出については、8月25日に昭和警察署、昭和消防署、昭和保健所へ各申請へ行つた。保健所からは特に手洗いを徹底してくださいと連絡がありました。

○ 食券販売については、9月19日（土）より、毎週土曜日17時ミサ後、日曜日8時ミサ後、10時ミサ後に販売する。平日は事務所にて販売してもらう。食券販売については教会学校と中高生の保護者にお願いをします。

○ 食券販売については、9月19日（土）より、毎週土曜日17時ミサ後、日曜日8時ミサ後、10時ミサ後に販売する。平日は事務所にて販売してもらう。食券販売については教会学校と中高生の保護者にお願いをします。

○ 食券販売については、9月19日（土）より、毎週土曜日17時ミサ後、日曜日8時ミサ後、10時ミサ後に販売する。平日は事務所にて販売してもらう。食券販売については教会学校と中高生の保護者にお願いをします。

○ 食券販売については、9月19日（土）より、毎週土曜日17時ミサ後、日曜日8時ミサ後、10時ミサ後に販売する。平日は事務所にて販売してもらう。食券販売については教会学校と中高生の保護者にお願いをします。

○ 食券販売については、9月19日（土）より、毎週土曜日17時ミサ後、日曜日8時ミサ後、10時ミサ後に販売する。平日は事務所にて販売してもらう。食券販売については教会学校と中高生の保護者にお願いをします。

2. バザーについて（バザー実行委員長）

・ポスターについて、3名の方から4案応募があった。評議委員会にて承認されましたので、貼出します。

・有志のボランティア募集については、今年もバザーの準備、片付け等のボランティアを募集する。9月12日より募集を開始する。募

集用紙を大聖堂、事務所に置き、必要事項記入の上事務所に提出してもらう。

・食券販売については、9月19日（土）より、毎週土曜日17時ミサ後、日曜日8時ミサ後、10時ミサ後に販売する。平日は事務所にて販売してもらう。食券販売については教会学校と中高生の保護者にお願いをします。

・役所への届け出については、8月25日に昭和警察署、昭和消防署、昭和保健所へ各申請へ行つた。保健所からは特に手洗いを徹底してくださいと連絡がありました。

・食券販売については、9月19日（土）より、毎週土曜日17時ミサ後、日曜日8時ミサ後、10時ミサ後に販売する。平日は事務所にて販売してもらう。食券販売については教会学校と中高生の保護者にお願いをします。

・食券販売については、9月19日（土）より、毎週土曜日17時ミサ後、日曜日8時ミサ後、10時ミサ後に販売する。平日は事務所にて販売してもらう。食券販売については教会学校と中高生の保護者にお願いをします。

・食券販売については、9月19日（土）より、毎週土曜日17時ミサ後、日曜日8時ミサ後、10時ミサ後に販売する。平日は事務所にて販売してもらう。食券販売については教会学校と中高生の保護者にお願いをします。

再確認する時でもあります。1年に1度のことなので、典礼奉仕者の皆様はご予定ください。典礼奉仕者の意思確認が行われます。主日ミサ奉仕者でやむを得ず欠席される方は欠席届の提出をお願いします。

なお、典礼奉仕に関する質問を8月中募集しました。

4. 敬老会について（信徒代表）
9月20日（日）9時30分ミサを多言語とする（司式は松浦司教）。この日の8時のミサは行わない。対象の方には席を指定させていただく（前にスムーズに出ていただくため）。当日の敬老お祝い対象の方への席の案内（声掛け）が必ず。ヨセフ会の案内係には対象の方も多しと思われるため、対象外の評議委員で席を案内する。説教の後、病者の塗油（高齢の対象者に限る。その他の希望者は、別日個別に対応する）を行う。お知らせの後に教会学校・中高生会の歌。その後、記念品とコーヒーションのチケット配付。75歳以上の対象者への案内ハガキを送付した。記念品は当日の急な出席に備えて5個余分に購入し、余った司祭館に寄贈する。コーヒーションのチケット負担の在り方について、コーヒーションと相談します。

9月20日（日）9時30分ミサを多言語とする（司式は松浦司教）。この日の8時のミサは行わない。対象の方には席を指定させていただく（前にスムーズに出ていただくため）。当日の敬老お祝い対象の方への席の案内（声掛け）が必ず。ヨセフ会の案内係には対象の方も多しと思われるため、対象外の評議委員で席を案内する。説教の後、病者の塗油（高齢の対象者に限る。その他の希望者は、別日個別に対応する）を行う。お知らせの後に教会学校・中高生会の歌。その後、記念品とコーヒーションのチケット配付。75歳以上の対象者への案内ハガキを送付した。記念品は当日の急な出席に備えて5個余分に購入し、余った司祭館に寄贈する。コーヒーションのチケット負担の在り方について、コーヒーションと相談します。

9月20日（日）9時30分ミサを多言語とする（司式は松浦司教）。この日の8時のミサは行わない。対象の方には席を指定させていただく（前にスムーズに出ていただくため）。当日の敬老お祝い対象の方への席の案内（声掛け）が必ず。ヨセフ会の案内係には対象の方も多しと思われるため、対象外の評議委員で席を案内する。説教の後、病者の塗油（高齢の対象者に限る。その他の希望者は、別日個別に対応する）を行う。お知らせの後に教会学校・中高生会の歌。その後、記念品とコーヒーションのチケット配付。75歳以上の対象者への案内ハガキを送付した。記念品は当日の急な出席に備えて5個余分に購入し、余った司祭館に寄贈する。コーヒーションのチケット負担の在り方について、コーヒーションと相談します。

9月20日（日）9時30分ミサを多言語とする（司式は松浦司教）。この日の8時のミサは行わない。対象の方には席を指定させていただく（前にスムーズに出ていただくため）。当日の敬老お祝い対象の方への席の案内（声掛け）が必ず。ヨセフ会の案内係には対象の方も多しと思われるため、対象外の評議委員で席を案内する。説教の後、病者の塗油（高齢の対象者に限る。その他の希望者は、別日個別に対応する）を行う。お知らせの後に教会学校・中高生会の歌。その後、記念品とコーヒーションのチケット配付。75歳以上の対象者への案内ハガキを送付した。記念品は当日の急な出席に備えて5個余分に購入し、余った司祭館に寄贈する。コーヒーションのチケット負担の在り方について、コーヒーションと相談します。

9月20日（日）9時30分ミサを多言語とする（司式は松浦司教）。この日の8時のミサは行わない。対象の方には席を指定させていただく（前にスムーズに出ていただくため）。当日の敬老お祝い対象の方への席の案内（声掛け）が必ず。ヨセフ会の案内係には対象の方も多しと思われるため、対象外の評議委員で席を案内する。説教の後、病者の塗油（高齢の対象者に限る。その他の希望者は、別日個別に対応する）を行う。お知らせの後に教会学校・中高生会の歌。その後、記念品とコーヒーションのチケット配付。75歳以上の対象者への案内ハガキを送付した。記念品は当日の急な出席に備えて5個余分に購入し、余った司祭館に寄贈する。コーヒーションのチケット負担の在り方について、コーヒーションと相談します。

9月20日（日）9時30分ミサを多言語とする（司式は松浦司教）。この日の8時のミサは行わない。対象の方には席を指定させていただく（前にスムーズに出ていただくため）。当日の敬老お祝い対象の方への席の案内（声掛け）が必ず。ヨセフ会の案内係には対象の方も多しと思われるため、対象外の評議委員で席を案内する。説教の後、病者の塗油（高齢の対象者に限る。その他の希望者は、別日個別に対応する）を行う。お知らせの後に教会学校・中高生会の歌。その後、記念品とコーヒーションのチケット配付。75歳以上の対象者への案内ハガキを送付した。記念品は当日の急な出席に備えて5個余分に購入し、余った司祭館に寄贈する。コーヒーションのチケット負担の在り方について、コーヒーションと相談します。

9月20日（日）9時30分ミサを多言語とする（司式は松浦司教）。この日の8時のミサは行わない。対象の方には席を指定させていただく（前にスムーズに出ていただくため）。当日の敬老お祝い対象の方への席の案内（声掛け）が必ず。ヨセフ会の案内係には対象の方も多しと思われるため、対象外の評議委員で席を案内する。説教の後、病者の塗油（高齢の対象者に限る。その他の希望者は、別日個別に対応する）を行う。お知らせの後に教会学校・中高生会の歌。その後、記念品とコーヒーションのチケット配付。75歳以上の対象者への案内ハガキを送付した。記念品は当日の急な出席に備えて5個余分に購入し、余った司祭館に寄贈する。コーヒーションのチケット負担の在り方について、コーヒーションと相談します。

5. 教会美化・倉庫整理について（信徒代表）

9月27日（日）に行う。清掃区域の分担と当日の道具準備については、ヨセフ会にお願いする。剪定は危険なため準備しない。雨天時はマリア館掃除。道具の準備は榊原さんに依頼する。美化に先立ち、昨年度と同様なやり方で倉庫整理を行う。7月中に処分予定のものに札をつけた。8月中に内容を見ていただき、処分の可否を判断した。処分するものは、9月27日に中庭へ移動する。

9月27日（日）に行う。清掃区域の分担と当日の道具準備については、ヨセフ会にお願いする。剪定は危険なため準備しない。雨天時はマリア館掃除。道具の準備は榊原さんに依頼する。美化に先立ち、昨年度と同様なやり方で倉庫整理を行う。7月中に処分予定のものに札をつけた。8月中に内容を見ていただき、処分の可否を判断した。処分するものは、9月27日に中庭へ移動する。

9月27日（日）に行う。清掃区域の分担と当日の道具準備については、ヨセフ会にお願いする。剪定は危険なため準備しない。雨天時はマリア館掃除。道具の準備は榊原さんに依頼する。美化に先立ち、昨年度と同様なやり方で倉庫整理を行う。7月中に処分予定のものに札をつけた。8月中に内容を見ていただき、処分の可否を判断した。処分するものは、9月27日に中庭へ移動する。

9月27日（日）に行う。清掃区域の分担と当日の道具準備については、ヨセフ会にお願いする。剪定は危険なため準備しない。雨天時はマリア館掃除。道具の準備は榊原さんに依頼する。美化に先立ち、昨年度と同様なやり方で倉庫整理を行う。7月中に処分予定のものに札をつけた。8月中に内容を見ていただき、処分の可否を判断した。処分するものは、9月27日に中庭へ移動する。

9月27日（日）に行う。清掃区域の分担と当日の道具準備については、ヨセフ会にお願いする。剪定は危険なため準備しない。雨天時はマリア館掃除。道具の準備は榊原さんに依頼する。美化に先立ち、昨年度と同様なやり方で倉庫整理を行う。7月中に処分予定のものに札をつけた。8月中に内容を見ていただき、処分の可否を判断した。処分するものは、9月27日に中庭へ移動する。

9月27日（日）に行う。清掃区域の分担と当日の道具準備については、ヨセフ会にお願いする。剪定は危険なため準備しない。雨天時はマリア館掃除。道具の準備は榊原さんに依頼する。美化に先立ち、昨年度と同様なやり方で倉庫整理を行う。7月中に処分予定のものに札をつけた。8月中に内容を見ていただき、処分の可否を判断した。処分するものは、9月27日に中庭へ移動する。

9月27日（日）に行う。清掃区域の分担と当日の道具準備については、ヨセフ会にお願いする。剪定は危険なため準備しない。雨天時はマリア館掃除。道具の準備は榊原さんに依頼する。美化に先立ち、昨年度と同様なやり方で倉庫整理を行う。7月中に処分予定のものに札をつけた。8月中に内容を見ていただき、処分の可否を判断した。処分するものは、9月27日に中庭へ移動する。

9月27日（日）に行う。清掃区域の分担と当日の道具準備については、ヨセフ会にお願いする。剪定は危険なため準備しない。雨天時はマリア館掃除。道具の準備は榊原さんに依頼する。美化に先立ち、昨年度と同様なやり方で倉庫整理を行う。7月中に処分予定のものに札をつけた。8月中に内容を見ていただき、処分の可否を判断した。処分するものは、9月27日に中庭へ移動する。

上で実施したことであるので、評議員は正しいことを信徒に伝えるよう努めましょう。成井司教様のお祝い準備の際も、評議委員の皆さんに呼びかけ前日準備を行なったように、これからも教会行事に關することを評議委員の皆様が共通認識のもと、共同体のために奉献していきましよう。草刈り、植物の水やりなどは司祭団の判断で行いますが、それ以外のことは、評議會で確認して、評議會や信徒の皆さんとの共通認識をもって行動していますので、どうか皆さん一緒にたつて行動して次の世代につなげていきましよう。

各会報告

典礼委員会

・9月13日(日)教会清掃後 典礼

奉仕者全体集会

・9月14日(月)十字架称賛 当南山教会名称のお祝い日 ミサ午前7時 小聖堂

・9月20日(日)9時半ミサ 松浦司教様司式 共同体合同ミサ 敬老お祝い 病者の塗油(対象者)祖父母と高齢者のための世界祈願日 共同祈願・一つを対象の方に依頼 答唱詩編・アレルヤ唱 中高生会奉仕

・9月27日(日)10時ミサ 教会学校・中高生のお子さん奉仕

次回 10月4日

二〇二六年キャンプ感想文 「楽しかったキャンプ」

私 は 八月 二十 一 日 から 八月 二十 三 日 までの 三日 間、 教会 学校 の イ ベ ン ト で キ ャ ン プ に 行 き ま し た。

最初 に マ リ ア 様 の 像 を 見 に い き ま し た。 話 を 聞 く と そ の マ リ ア 様 の 像 は き せ き が か さ な り で き た ら し い で す。 次 に 山 び こ 館 に 行 き B Q を し ま し た。 お 肉 が と て も お い し かつ た で す。 そ し て 花 火 を し ま し た。 せん こ う 花 火 は 最 後 ま で 終 わ り 二 日 目 が 始 ま り ま し た。 二 日 目 で 特 に 楽 し かつ た の が な が し そ う め ん で す。 私 は そ う め ん を な が さ せ て も ら い ま し た。 や き マ シ ャ マ ロ も 食 べ ま し た。 他 に も 公 園 で そ り の よ う な も の に の り す べ り だ い を す べ っ た り、 ト ン ボ を つ か ま え た り し ま し た。 夜 の 自 由 時

T W

間 には お ば け や し き に 行 っ た り、 だ い ふ ご う を し た り し ま し た。 そ し て 二 回 目 の 花 火 を し ま し た。 そ し て、 三 日 目 に な り ま し た。 三 日 目 は 九 時 に や ま び こ 館 を で て 泰 阜 カ ル メ ル 修 道 院 で ミ サ を し ま し た。 私 は ア レ ル ヤ し ょ う を 歌 い ま し た。 そ の 後、 修 道 院 内 を 見 学 し ま し た。 カ ル メ ル 修 道 院 で は、 ホ ス チ ア だ け で は な く、 ク ツ キー も つ く っ て い る よ う で す。 そ し て ホ ス チ ア を く り ぬ く た い け ん を し、 ま だ ご せ い た い に な っ て い な い も の を も ら い ま し た。 最 後 に マ リ ア 様 の 像 の あ る 所 へ 行 き 歌 と い の り を と な え キ ャ ン プ は 終 わ り ま し た。

今 回 の キ ャ ン プ は い ろ ん な こ と が あ り、 大 変 な こ と も あ り ま し た が、 と て も 楽 し かつ た で す。 ま た 南 山 教 会 へ 帰 っ て も 神 様 へ の か ん し や を わ す れ ず 楽 し い 日 々 を お く り た い で す。

「ホスチア」のひみつ

私 は 今 年 も、 二 泊 三 日 で 教 会 学 校 の キ ャ ン プ に 行 き ま し た。 一 日 目 は 岐 阜 県 み た け 町 の き せ き の マ リ ア 様 の 所 へ 行 き ま し た。 い ろ い ろ な き せ き が 重 な り、 出 来 た マ リ ア 様 像 で す。 二 日 目 は、 ア イ パ ー ク と い う 公 園 で 遊 び、 流 し そ う め ん を し ま し た。 三 日 目 は、 泰 阜 カ

H I

ル メ ル 会 の 修 道 院 に 行 き、 ご ミ サ に あ ず か り、 ホ ス チ ア を 作 っ て い る 所 を 見 学 さ せ て も ら い ま し た。 一 番 思 い 出 に 残 っ た こ と は、 カ ル メ ル 修 道 院 で、 ホ ス チ ア の 作 り 方 を 見 せ て も ら っ た こ と で す。 ホ ス チ ア を ど こ で 誰 が 作 っ て い る の か、 い ま ま で す と 気 に な っ て い ま し た。 ホ ス チ ア の 材 料 は、 小 麦 粉 と 水 で、 ク レ ー プ 焼 き 機 み た い な 丸 い 機 械 で 挟 ん で 焼 き ま す。 そ の プ レ ー ト に は 模 様 が あ っ て、 挟 ん で 焼 く と 模 様 が つ き ま す。 カ ッ ト 前 の 神 父 様 用 の ホ ス チ ア 十 二 枚 分 な の で、 顔 よ り も 大 き な 円 の ホ ス チ ア で す。 そ し て ホ ス チ ア を カ ッ ト さ せ て も ら い ま し た。 自 分 が 切 っ た ホ ス チ ア は お 土 産 で 大 切 に 持 っ て 帰 り ま し た。 と て も 貴 重 な 経 験 を さ せ て も ら い ま し た。 こ ち ら で 作 ら れ た ホ ス チ ア は、 沖 縄 以 外 の 全 国 の 教 会 に 送 ら れ て い る そ う で す。

シ ス ター 達 は、 毎 日 た く さ ん お 祈 り を し て、 決 ま っ た 生 活 を 過 ご し て い る と 知 り、 そ う い う 暮 し を し て い る と 知 り び つ くり し ま し た。 シ ス ター た ち が た く さ ん お 祈 り を し て 下 さ っ て い る お か げ で、 世 界 の 人 た ち が 平 和 に 暮 ら せ て る の だ と 思 い ま し た。 こ の キ ャ ン プ を 通 し て み ん な と、 さ ら に 仲 よ く な れ ま し た。 カ



ルメル修道院のシスターたちの暮らしや、ホスチアについてたくさん知ることができました。皆さんのおかげで充実したキャンプになりました。ありがとうございます。

「キャンプ」

ぼくは、毎年、神さまと神父様と教会学校のみんなでキャンプへいきます。

初日のバーベキュウ、二日目の流しそうめん、お弁当、宿のごはん、どれもみんなといっしょに食べれてとてもおいしかったです。作ってくれた人たちにかんしゃの気持ちでいっぱいです。おいしいごはんのおかげで楽しいキャンプがよりのしくかんじられました。初日のマリア様の像は美しかったです。いっぱいのごうぜんがかさなりあってできたマリア様の像は美しいほえみでした。

一番心にとったことはホスチアを作っている修道院のシスターたちです。ホスチアづくりをさせてもらったりシスターたちの生活を聞かせてもらいました。仕事の合間合間にお祈りをしていることはほんとうにほんとうにほこらしいことだと思います。シスターたちと、同じように7回はできないけど、食べる時、ねる

時、毎週日曜は欠かさず世界中の人たちのために祈りたいです。「つくす」

K T

私は今回のキャンプで学んできとがありました。それは題名のとおり「つくす」ことです。最初に、近くにあったマリア様の像に行きました。そのマリア様の像は隠れキリシタンのまつえいの石家さんが少ない資金で、作ってくれと頼まれたそうです。それで石家はマリア様の像を彫っていたのですが、顔はあまり彫れなかったそうです。そんなある日、石家さんの先生的な人がきて、色々指導してくれてそうです。その翌日の朝、みてみるときれいに顔が彫られていたそうです。その後も色々な偶然が重なって、とても素敵なマリア像ができたそうです。偶然はたまたまでしたが、その過程の人たちが素敵なマリア像にするためにつくした結果だと思いました。

次にキャンプですから、料理や何やら準備をしなければいけないのですが、その多くをやってくれた親や大人の人の愛や子供のためにつくす心に感心しました。最後にカルメル会のシスターた

ちです。シスターたちは世界のため、イエス様に一日を通してささげています。シスターたちは、一日に七回もお祈りをするそうです。今週は私たちの為に特別に、仕事の場所や、お祈りをしている場所などを見学させてもらいました。ホスチアを作って食べる貴重な経験になりました。私は、一日に七回も、お祈りすることはできませんが一日に一回でも世界のこを想いたいと思いました。

そして、今年も子供のために頑張ってくれたリーダーや親たちに感謝したいです。

今年もものすごく楽しくて良い思い出になりました。ありがとうございます。

「感想文」

C F

歴史のあるしゅうどういんでミサをささげたときにほうのうをやりました。自分の中できんちようときしのあるばしよでできるよこびがいりまじりました。

ほうのうをする時ははなちゃんのリュックサックがど真ん中においてありました。キャンプはそんなハプニングをふくめて夏のさいごの思い出になりました。

「キャンプで楽しかったこと」

Y N

今回のキャンプで楽しかったこと

とは、みんなでやったカードゲームとあいパークにあったボブスレーです。

遊んだカードゲームは、決まったカードとランダムなカードを使って文章を作るというゲームです。私は一回だけ勝ちました。相手が多かったので勝つのはくろうしました。どんな文章だったらいいかしこうさくごできたのでいい頭の運動になりました。

次にボブスレーをやりました。

私のボブスレーのイメージは氷の上をすべるものかと思っていたのでこの暑い中でどうやってやるのかと気になっていました。でもいざ登ってみると、レールの上をすべっていくジェットコースターの手動版のようでした。レバーをたおしたり、ひいたりするとスピードが調整できました。最初はこわかったけれど、二回目は慣れて平気でした。

ふだんはあまり山の中にみたいな大自然にふれることがないのでいいいいけんになりまし



平和祈念の集い

社会委員会 川西通子

8月2日(日)南山教会大聖堂にて「第18回平和祈念の集い」が開催され、厳しい暑さの中、120名ほどの参加者があった。

第一部はロックミュージシャンであり弁護士島明宏氏の講話「自由のための闘い―憲法を掲げて」

島弁護士は憲法改正された場合一つ一つの条例について次のように語られた。

憲法13条、これは憲法の本質。すべての国民は個人として尊重される。個人が人に変えられるのは大きな違いがある。一人ひとりの尊厳がなくなり障害者、LGBTQマイノリティは社会から切り捨てられてしまう。

21条(表現の自由)、集会、結社及び言論、出版その他一切の表現の自由はこれを保障する。

これが制限されると、国民の「知る権利」が奪われ、場合によってはデモ集会で逮捕される。また国旗損壊罪は表現の自由、思想信条の自由を委縮させる懸念がある。

97条(基本的人権の本質)、この憲法が日本国民に保障する基本的人権は人類の多年にわたる自由獲得の努力の成果であって、これらの権利は過去幾多の試練に堪へ、



現在及び将来の国民に対し、侵すことのできない永久の権利として信託されたものである。改憲案は97条の全文が削除された。

9条(戦争の放棄)、戦力の不保持、交戦権の否認の平和主義の条文。昨今、平和主義の変容、軍事活動拡大リスク、周辺国との緊張増加が懸念される。憲法は戦争の反省からつくられたが、9条は重大な危機にさらされている。憲法について現状を知り社会参加をして欲しい。

講話後は島氏のもう一つの顔であるロックミュージシャンとして、Dance to the 9に続けて2曲を熱唱し、大聖堂はリズムに合わせて拍手子に包まれた。

第2部は松浦司教様による講話「時のしるしを読み、時代の責任をとるために」

これはマタイによる福音(16・1・3)にある言葉で、歴代の教皇はこう伝えている。

教皇ヨハネス23世は使徒憲章(1961年)で「人類社会が危機に直面している、教会の任務は重い」と述べ、またパウロ6世は回勅(1967年)で「飢えた民を、いま富める民に苦しいうめきをあげている。すべての国がそれぞれの責任をとって立ち上がるべき時」と、時代を超えて我々にも呼びかけている。

20条(信教の自由)では、現憲法の「国及びその機関は、宗教教育その他いかなる宗教的活動もしてはならない」という部分の内容は変えていないが、改憲案では、それに、「ただし、社会的儀礼又は風俗的行為の範囲を超えないものについては、この限りでない」という一文を加えることで、靖国参拝を可能にしようという意図があり、司教団ではこの部分への危惧から反対声明を出した。

このように権力によって流されたつがある。知らないでは済まされない。ぼんやりしている間に取り返しのかない事態になる。憲法は人類の多年にわたる自由獲得の

努力の成果で、この権利を手放したその責任は大きい。未来の人たちのためにも、今を生きるわたしたちにできること。「時のしるし」はわたしたちに問いかけている。この集いを通して、平和を止め、その為に祈り、考え、行動し憲法を守る使命を実感した。

典礼コーナー 典礼委員会

Q、いつ、ゆるしの秘跡を受けたら良いですか。

年に1度、ゆるしの秘跡を受けなければならぬと教会のおきてがあります。

そのほかに自分に必要であると感じた時には、必ず受けなければなりません。

南山教会では、ミサ10分前から、告解部屋で司祭からゆるしの秘跡を受けることができます。ミサ冒頭で、回心の祈りも唱えませんが、大罪を犯した場合は、告解しましょう。

Q、どんな罪を告白しますか。

神ならびに教会と和解したい人は、良心を一念に調べた結果思い出した、まだ告白していないすべての大罪を司祭に告白しなければなりません。小罪の告白は義務ではありませんが、教会は奨励しています。

8月16日 司祭叙階25周年記念ミ
サ成井司教様説教

(福音箇所…マタイ15・21―28)



皆様、最近、なりふり構わず何かをしたことがありますか。後先構わず、必死で何かをしたことがあるでしょうか。今日の福音で読まれた女性、お母さんは、なりふり構わず、後先構わず、必死になつてイエスにすがりつきました。ユダヤ人のイエスにとつては、異邦人の地で、しかも異邦人の女性と会って話をするとは、完全なタブーで、やつてはいけないことでした。それを知って、なおこのお母さんは娘に取りついた悪霊を追い出してもらうために、なりふり構わず、後先構わず、必死でイエスにすがりつきました。イエスは、自分はユダヤ人でこの女性がカナの異邦人だという理由で断りました。「子どもたちのパ

ンを取って、子犬たちにやつてはいけない。」私はユダヤ人であり、ユダヤのためにいるのだから、異邦人のためにするのは良くない、という意味のことをおっしゃいました。でも、お母さんは食い下がります。「主よ、ごもつともです。しかし、子犬も主人の食卓から落ちるパンくずをいただくのです。」イエスは、お母さんの娘に対する愛に心を動かされて、「婦人よ、あなたの信仰は立派だ。あなたの願うようにな

れ。」とおっしゃいました。この箇所が私はとても好きで、前回75周年の講演会でこちらに來させていただいた時も、講演の中でこの聖書箇所を取り上げさせていただきました。イエスは、本当に弱い人間になりました。文化や民族、そして律法に縛られた者として、規則民族の違いによって、この女性の願いを断つたのです。ね。イエスは本当に弱さをまともに、神の独り子が本当に私たちと同じように弱い人になったことが、ここから伝わってきます。でもすごいのは、その次です。イエスは神の子であるにもかかわらず、自分の態度を変えるのです。ね。お母さんの娘に対する愛によって、心を動かされて、自分のやり方を曲げるのです。自分が神

の独り子であるイエス様ご自身が、相手に合わせるのです。自分のやり方を曲げるのです。自分が一度断つたことを、「わかりました。」と受け入れるのです。私たちが信じている神様は、正しく、きちつと生きるかどうか、自分の思いを貫いているかどうかではなく、人の思い、人の心、人の愛に動かされて行動される神様なのです。そのことをイエスは、私たちに示してくださっていると思います。私は、そういうイエスの生き方と言いましようか、生き様がとても好きです。立派にと、正しくとか、きちつとかでなく、人の思い、なりふり構わず人を大切にしようと思う、その気持ちに動かされて生きるイエスを、模範にしたいなあと思っています。そのように25年間歩んできました。私が神から司祭職に招かれていると感じたことは、人生の中で一度もありませんが、イエスのこうした生き方が、まさに「かつこい生き方」だと感じる感性をいただいていることを感謝しています。そして、自分に与えられた役割、特にカリタスとか正義と平和を通して難民キャンプに行つて來て、ある時、お母さんが私の所へやつて來て、「自分の子ども

が惡霊に取り憑かれているから、惡霊を追い払ってほしい」と、まさに今日の福音と同じことを言われました。私は行つて、聖水をかけてお祈りしました。自分の祈りによって、その子が良くなると思えませんが、でも、お母さんの子どもを思う気持ちは、祈りは、間違いなく神に聞き届けられています。そして神はその思いを受け止めて、何とかしてくださる。そんな確信を持つて、その時、私は帰つて來ました。そうやつて自分の与えられた役割を通して、さまざまな、イエスらしい生き方に觸れてきた。イエスに出会つてきた。そのことは、私の25年間の宝物であり、そして、何と云うのでしょうか。この道に招かれた、この道に派遣された者として、喜びを持ってキリストの宣教に参加しています。そのことに本当に感謝しています。ここに立っています。

英語にて、上記内容を抜粋にて話します。(省略)最後に、子どもたちへ。

子どもの皆さん、今日、福音朗読で、イエス様は、お母さんの娘さんに対する愛に心を動かされ、いやしてあげるのです。皆さんがカナの異邦人だということ、自分

がこうなりたいたか正しいと思うことも大切ですが、人が困っている人、なんとかしてほしいと思っている人に心をひらいて、一緒に歩む、そんな人になってほしいなあと、そんなふうに思います。

巡礼記(5月) 大川 隆

○東京大司教区亀有教会(5月19日)

亀有教会は、コンベンツアル聖フランシスコ修道会が東京都足立区に幼稚園と修道院を設立し、その幼稚園の講堂を始まりとする教会です。白くおしゃやかな外観で、こじんまりとした聖堂にはサンダミアノの十字架と縦に細長い青色を基調とした鳩が舞うステンドグラスが特徴的です。隣の聖フランシスコ幼稚園の入口には、アシジの聖フランシスコと子供たちの像がありました。



○名古屋教区 熱田教会(5月26日)

パドバの聖アントニオに捧げられた熱田教会は、神言会司祭から始まり、その後長きにわたりフランシスコ会の司牧の元にありました。この4月末に名古屋教区に移管されました。聖堂は木の梁が組まれた山小屋風で落ち着いた雰囲気です。聖堂内の12本の柱には、使徒たちの名前のアルファベットがダビンの最後の晩餐の席順をもとに刻まれています。併設の幼稚園では聖アントニオが子供たちを見守っていました。



ワンポイントひらめき

秋元恭子

私は土曜日の聖体賛美式に参加しています。

ある時、沈黙の礼拝中に気付いたことがあります。

祭壇に顕示された御聖体と私について。

御聖体のイエス様は目には見えないが、愛といつくしみの眼差し

で私たち一人ひとりを見ておられる。それに対して、私はどのような心で御顔を拝しているのでしょうか。硬い表情で、厳しい顔して、自分の願いに、思いに集中しており、いつも変わらない同じ表情でいるような自分がいました。

愛といつくしみの御顔で、瞳のようにわたしを守り(詩編17:8)一人ひとりを見つめておられることを思えば、こちら側もそれを喜んで受けるなら、嬉しい表情で対面したいと思いました。実際、人がこやかで笑顔溢れる表情で私と対面している時にはこちらもそれにつられて、引き込まれて笑顔になるはずですから。もっと親しく、努力ではなく恵みとしていた

だきたい、と思いました。その話を夫にし、共に祈りました。その時の夫の祈りが自分の願いにぴったりの祈りをしてくれましたので、皆様にも分かち合い、同じことを思われている方がいるようにしたら、どうぞ参考になさってください。

「御聖体に向かう私の心の願いの祈り」

御聖体の内に真に現存して、生きておられる、私の内に生きておられる主イエス様が私を常に最高の愛、最高のいつくしみで、そして柔和な眼差しで、謙遜で、とて

も優しい、誰をも責めないこの眼差しで見つめてくださっているその御顔は、輝きだけでなく、喜び、こんな美しいものはない、と知った者の喜びが溢れてくるイエス様の御顔は、そういう御顔ですから、どうかそれを見出して、わたしの魂が見出してそれに応答するようにしてください。その応答が、私の表情に表れてくるように。

目を開いてください。

イエス様の優しい何とも言えない愛といつくしみに満ちた微笑みと、自分にとつてかけがえのないものを見つけたのだ、という眼差しをイエス様の内に見出せるようにしてください。

そしてそれに応答するように、私の心を造り変えてください。感情も感覚もすべてそのように働くようにしてください。

主イエス様の御名によって。

アーメン。

十字架”について

川原 稔

●【十字架とは何か】

十字架は、カトリック教会にとつて単なる苦しみや死の象徴ではない。それは、神が人間をどれほど深く愛しておられるかを示す救いのしるしである。イエス・キリス

トは、罪のない方でありながら、人間の罪を背負い、十字架上で自らを父なる神にささげられたのである。「神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された」(ヨハネ3・16)という福音は、十字架の意味を端的に示している。

■【愛と救いの十字架】

キリストの十字架は、罪と死に対する勝利への道である。教会は、キリストが十字架上の死によって人類を罪から救い、復活によって死に打ち勝たれたと教えている。したがって十字架は、苦しみそのものを肯定するものではなく、苦しみを愛によって引き受け、それを救いへと変えてくださる神の力を示すものである。ミサにおいても、キリストの十字架の犠牲と復活の神秘が記念され、信者はその救いの恵みにあずかるのである。

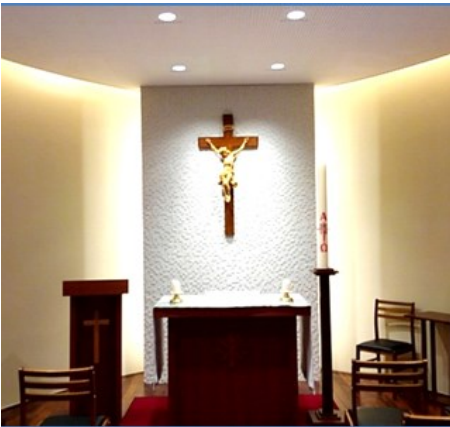
■【私たちが背負う十字架】

十字架を信じるとは、十字架を首に掛けたり、十字を切ったりするだけではない。イエスは「自分の十字架を背負って、わたしに従いなさい」(マルコ8・34)と教えられた。これは、神を愛し、隣人を愛し、赦し、仕え、困難の中でも善を選ぶ生き方である。十戒や教会の戒めも、単なる規則ではなく、神と隣人への愛を具体的に生

きるための道である。ゆえに十字架は、信者の日々の生活そのものに関わるしるしである。

★【十字架から始まる希望】

十字架の中心にあるのは、苦しみではなく愛である。キリストは十字架上で敵をも赦し、ご自身を完全にささげられた。その愛は復活によって死を超える希望となった。第二バチカン公会議の教えが示すように、教会はキリストの救いを受けた民として、すべての人とともに歩む使命を持つ。私たちが十字架を見つめるとき、そこに自分の苦しみだけを見るのではなく、神の愛、赦し、犠牲、そして復活の希望を見るべきである。十字架とは、神が「あなたを愛している」と示された、救いのしるしなのである。



典礼一口メモ ～香部屋の窓から～ 第95回 小聖堂の話

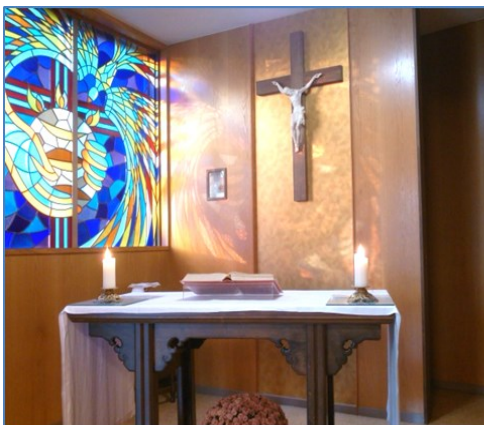
香部屋係 新内飛鳥

大聖堂について4回に分けてお伝えしてきました。今回は小聖堂のついでにお話しします。

ところでア・カペラ (a cappella)、無伴奏で歌う音楽様式をアカペラと言います。その起源はキリスト教の礼拝の際、オルガンや楽器などのない小さな礼拝堂や地下墓地などで肉声のみで賛美歌などを歌ったことにあります。その小さな礼拝堂のことをcappella (カペラ)と呼んでいたのです。ちなみに英語ではchapel (チャペル)です。チャペルは、もともと礼拝を捧げる場所を指す言葉でしたが、現代では結婚式場や葬儀会館なども含んでいるようです。私たちの南山教会には3つのカペラがあります。平日のミサをささげている聖アーノルドヤンセン小聖堂、個人的な追悼ミサや小規模な葬儀前の遺体の安置などに使うヨセフ館の聖堂、そして聖ヨゼフ・フライナーデメツ司祭館の司祭団のプライベート聖堂の3つがあります。

それぞれの空間に趣があり、祈りに招いてくれますね。でも私た

ちにとって一番身近なカペラは私たち自身の心です。そこにはいつもイエス様がいて下さるからです。そのことを忘れてしまいがちですが、私たちが忘れてしまっていて、イエス様はいつもそこにいて下さいます。教会美化の目に見える聖堂を掃除することも大切な務めですが、私たちのカペラを清く保つ努力を怠らないようにしたいですね。



昨年帰天された、南山教会所属姉妹 故クリスチャーヌ山田 さん様のご遺族の方から、ご遺言により、南山教会へ2百万円のご献金をいただきました。

この場をお借りして御礼申し上げます。

財務委員会





司祭団 草刈り



完全な従順

アッシジの聖フランシスコ

主は福音の中で仰せになります。「自分の持ち物をいっさい捨ててしまわない者は、私の弟子となりえない。」(ルカ 14・33)。

また、「自分の命を救おう望む者は、それを失う」と(ルカ 9・24)己を残らず目上の手にゆだね、従順を生きる人こそ、自分の持ち物をいっさい捨てて、自分の体を失っていないと知っていることを語ったり、行ったりすることは皆、そうすることが善である限り、まことの従順です。

目下、目上の命じることより自分の靈魂にとつてもつと良く、もつと有益なことを知っていても、それをいけにえとして進んで神に捧げ、目上の望みを業によって満たすよう努めるべきです。なぜなら、これは、神と隣人に喜ばれるので、「愛徳満ちた」従順であるからです(一ペトロ 1・22)

アッシジの聖フランシスコ
小品集より

信者の消息

転入

ようこそ

セシリア 伊藤 美由紀 (掛川教会)

帰天

神の栄光にあずかれますように

マリア 平出 政子 (95歳)

マリア・テレジア 松永 光江 (100歳)

ローザ 岩田 美恵 (94歳)

エリザベト 市村 京子 (80歳)

アンナ 品川 記子 (81歳)

維持費納入について

維持費の袋は教会事務所にて保管しております。

事務所にて直接ご納入下さるか、以下の口座にお振込み頂くこともできます。よろしければご利用下さい。

大規模献金もこちらの口座にお振込み頂けますが、維持費と区分するためにお名前の前に大規模と記載して下さい。

○三菱UFJ銀行八事支店 普通預金 1737813

カトリック南山教会 維持費口

○郵便口座 00880-8-70893

カトリック南山教会

財務委員長 伊藤恭輔

2026年9 - 10月行事予定表

	教会典礼暦	南山教会行事	各会活動	教区行事・その他
9月	14(月)十字架称賛	13(日)聖堂・聖堂横トイレ・教会周辺清掃 13(日)典礼奉仕者全体集会 20(日)共同体合同ミサ・合同病者塗油の秘跡 敬老会 27(日)教会美化・倉庫の整備	4(金)マリア会例会(懇談会) 6(日)小教区宣教司牧評議会 6(日)小教区宣教司牧評議会 13(日)中高生会始業式 20(日)要約筆記付きミサ 20(日)ヨセフ会班長会 26(土)子ども部屋・典礼委員会	6(日)被造物を大切にする世界祈願日 19(土)レジオマリエ名古屋クリア 23(水)八事霊園合同追悼ミサ 27(日)世界難民移住移動者の日(献金)
10月	ロザリオの月	11(日)聖堂・聖堂横トイレ・教会周辺清掃 25(日)共同体合同ミサ 25(日)教会バザー	2(金)マリア会例会(懇談会) 4(日)小教区宣教司牧評議会 18(日)ヨセフ会班長会 24(土)子ども部屋・典礼委員会 24(土)要約筆記付きミサ	4(日)宣教司牧評議会 11(日)東八事第一墓地合同追悼ミサ 17(土)レジオマリエ黙想会 18(日)世界宣教の日(献金) (土)神言会司祭叙階式(南山教会)